

## 2022年度（第63回）日本女子アマチュアゴルフ選手権競技

第1ラウンドを終えて（6月14日火）

岐阜県岐阜関カントリー倶楽部東コース

日本女子アマチュアゴルフ選手権に出場した4人、森村美優(屋島CC)、松浦葵（小豆島シーサイドGC）、菊田ひな(屋島CC)、藤田藍（スカイ・ベイGC）には、一つの目標があった。今年の四国女子アマチュアゴルフ選手権から日本女子アマへの出場枠は、わずかに4人。

他の地区に比べても圧倒的に狭き門だ。その枠は前年度の日本女子アマで予選を通過した選手の人数で決められる。「来年のみんなのために絶対予選を通りたい」が4人の合い言葉だ。

### 藤田 藍(スカイベイGC) 75(+3) 49位タイ

4人の中で一番スコアが良かったのが、3オーバーパー75の藤田だ。4番ホールから3連続ボギーで苦しい状況に追い込まれたが、7番ホールで3メートルのパーパットを沈めてから「切り替えられた」。8番ではバーディを奪い、息を吹き返す。雨の影響でドライバーショットが飛ばず、雨で重くなったラフにも苦しめられながら、後半は1ボギーで耐えた。最終18番は打ち上げの432ヤードのパー4で、この日難易度1位の難ホールだ。

彼女は残り220ヤードの第2打を3番ウッドで打って、ピン7、8メートルに2オンに成功。堅く2パットのパーで納めて、ホールアウトした。「明日につながるパーだったと思う。今日はきつかったけど、もっといけます」と闘志を燃やしている。第1ラウンドを終わっての順位は49位タイだが、混戦のため1打違うだけでぐっと順位は上がるので、まだわからない。



第2ラウンド終了時点で60位タイまでの選手が第3ラウンドに進出できる。予選突破をかけた第2ラウンドのプレーが楽しみだ。

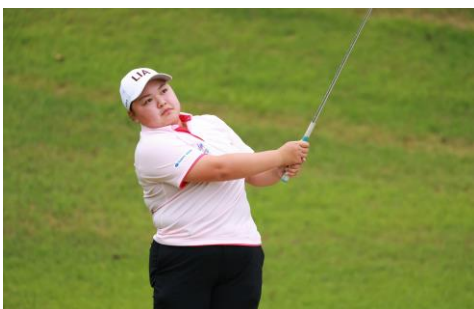
### 菊田ひな(屋島CC) 76(+4) 70位タイ

「ショットはめちゃ良くて、1ピン以内に絡んでいたのに、パットが入らない。すごくショックでした。前半(インスタート)はしのいでいたのに、1番ホールで50センチのバーディパットを外してから、流れが変わってしまった。それからショートパットが怖くて打てなくなってしまった。でも、明日は絶対予選を通りたい。来年のみんなのためにも枠を増やしたい」



### 森村美優(屋島CC)

### 76(+4) 70位タイ

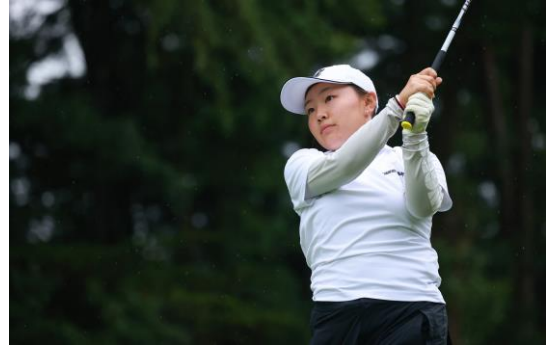


「ショットがまっすぐ行き、のせて2パットという平均的なプレーをしていたが、後半苦手意識のあるホール(NO.17)でOBを打ってしまった。ティーショットの落としどころが狭くて、右の林に打ち込んでしまった。ショックでした。前半1アンダーパーでよかっただけに。今日はOB2発打って、その分がオーバーパーになってしまった。明日はOBをなくせば、もうちょっとバーディを出せると思うので頑張りたい」

松浦 葵 (小豆島シーサイドGC)

76 (+4) 70位タイ

「ショットはいいのに、番手ミスとか私は飛ばない方なので距離が届かなくて、今日は点数でいうと50点くらいしかない。もうちょっとスコアをまとめられたと思う。フェアウェイが雨で濡れてランが出なくて、距離が残って飛距離も落ちるので、しかたない。今、四国の枠が4人しかないので、予選通過してみんなの分を増やしたい。ショットは悪くないので、パットが入れば突破できると思う」



**SGU**SHIKOKU GOLF UNION